

2018年(平成30年)3月 支部だより

平昌での冬季オリンピックのニュースが、連日テレビや新聞を賑わせています。羽生結弦や宇野昌磨の華麗な演技に感動し、小平奈緒や高木姉妹らのスピード競技では手に汗を流す興奮を覚えました。今回は13個のメダルを獲得し過去最多になりました。メダルを獲得した選手には賞賛の拍手を送りたいと思います。一方長年の努力が報われずメダルを取れなかった人、特に1回だけのチャンスで失敗し、実力が発揮できなかった選手には、その悔しさはいかばかりかと同情する一方、その人が積み重ねてきた努力に対し、同じく賞賛の拍手を送りたいと思います。今回のオリンピックでも多くのドラマが生まれました。まさしく台本のないドラマです。予想もできない展開、心を揺さぶる感動、これらのドラマが見たくて、毎日テレビから離れられません。

我々高齢者にとってもスポーツは健康維持に非常に重要な役割をしています。4人に一人が65歳以上になり、高齢者が健康で長生きできるようになる事は、この国にとって重要な問題です。最近ではスポーツジムに通う高齢者も多く、自分自身の健康に気を付けている人を良く見かけます。毎日1万歩の歩きを何年も続けておられる方には、その意志の強さに頭が下がります。日本人の平均寿命は女性が87.14歳、男性が80.96歳で過去最高になったようですが、健康寿命の言葉通り、できる限り健康で暮らしたいものです。もちろん健康維持にはスポーツをするだけでなく、食事等の生活習慣が大切な事は言うまでもありませんが、年齢に合った運動を無理なく続けることで、身も心も健康な生活を送りたいと思います。

親鴨会関西支部では、現在327名の会員がおられます。ただこのところ新規に入会される会員が少なくなってきており、親鴨会が抱えている問題と同様に高齢化が問題となっています。現会員の皆様にもIBMを退職されたり、今後退職されるお知り合いの方がおられましたら、是非親鴨会への入会をお勧めいただきますようお願いいたします。

今年度も会員の皆様によるこんでいただける企画を計画しています。スポーツ関連では、ゴルフコンペ、ハイキング、ウォーキングなど健康維持に役立つ行事、また娯楽・教養関連では、落語鑑賞、浪曲鑑賞、歴史講座、パソコン教室、と言った行事を取り混ぜて年間20回位を計画しています。皆様のご参加をお待ちしています。人気の行事は直ぐに満席となりますので、お早目の申し込みをお願いいたします。

関西支部長：友國健司